

Code Orange

	代表者	河生多佳雄（医学B 4年）
構成員	綾田亮（医学B 6年）岩橋晶子（医学B 6年）梶間未葵（医学B 6年）	
	木村翔一（医学B 6年）島袋太一（医学B 6年）	
	下川純希（医学B 6年）下西惇（医学B 6年）	
	仲田成美（医学B 6年）中溝一充（医学B 6年）	
	吉田陽（医学B 6年）吉村沙記（医学B 6年）	
	瀬戸口尚登（医学B 5年）今井智子（医学B 5年）	
	岡本彩（医学B 5年）柏原彩乃（医学B 5年）	
	近藤萌（医学B 5年）新庄英梨子（医学B 5年）	
	田村友里（医学B 5年）富永和花（医学B 5年）	
	中島京（医学B 5年）縄田慈子（医学B 5年）	
	西田拓人（医学B 5年）久本沙和（医学B 5年）	
	森麻里母（医学B 5年）明野由里奈（医学B 4年）	
	小関元太（医学B 4年）加藤優里（医学B 4年）	
	佐村美穂（医学B 4年）田代恵莉（医学B 4年）	
	永久成一（医学B 4年）西田彩華（医学B 4年）	
	浜辺龍太郎（医学B 4年）宮本翔太（医学B 4年）	
	矢田祥子（医学B 4年）鈴木潤一（医学B 3年）	
	小林諭史（医学B 3年）遠山直矢（医学B 3年）	
	佐伯晋吾（医学B 3年）上野真帆（医学B 3年）	
	大神彩夏（医学B 3年）木村剛（医学B 3年）	
	木本義敬（医学B 3年）高浜麻衣（医学B 3年）	
	坪根咲里依（医学B 3年）戸川文子（医学B 3年）	
	仲野優（医学B 3年）水野ちづる（医学B 3年）	
	宮崎由依（医学B 3年）久保直登（医学B 2年）	
	川口晃（医学B 2年）久松健人（医学B 2年）	
	板坂美里（医学B 2年）下栗佳那美（医学B 2年）	
	當間優生（医学B 2年）堀江ゆうか（医学B 2年）	
	薬師寺真生（医学B 2年）桃原華（医学B 2年）	
	洪田渚（医学B 2年）佐藤菜緒（医学B 2年）	
	飛驒野篤（医学B 2年）恵美拓也（医学B 2年）	
	東花奈子（医学B 2年）山元かなえ（医学B 2年）	
	吉村知佳子（医学B 2年）酒匂優嘉（医学B 2年）	
	土肥聖未（医学B 2年）金谷妃呂子（医学B 2年）	

1. 上半期を振り返って

Code Orange の活動は今年度で 6 年目を迎えるが、年々構成員が増加してきており、今年度も新たに 25 名の新メンバーを迎えた。さらに、例年は医学科の学生が新メンバーの大多数を占めていたが、今年度の新メンバーの半数以上が保健学科であり、その中でも検査の学生が加入してくれたことから Code Orange の活動が医学部全体に浸透してきていることを実感できる。今後は吉田キャンパスや常磐キャンパスにおいてもさらに活動を広げ、山口大学全体の組織として活動していくことを目標としたい。

上半期は学生や市民への心肺蘇生法の普及活動の他、主に新メンバーを対象とした勉強会や練習会を充実させた。特に勉強会においては、加入して 2 年目を迎える 3 年生たちが講義を担当するなど、単に新メンバーに対し

て知識や技術を与えるだけでなく、既存のメンバーにもアウトプットを通して再教育の場としても活用した。この勉強会及び練習会により、加入したばかりの新メンバーが上半期の普及活動で活躍するなど、短期間ながらも非常に効果の得られる結果となった。

2. 上半期の活動内容

- 1) 4月 新メンバー募集
- 2) 6/24 部活動講習会@小串キャンパス
- 3) 7/12 七夕祭展示&講習会@吉田キャンパス
- 4) 8/8 BLS 講習会@医学部オープンキャンパス
- 5) その他定期活動

3. 新メンバー募集

4月に2週間で計5回の茶話会を行い、新メンバーを募集した。茶話会では代表により Code Orange の活動内容を紹介するプレゼンテーションを行い、我々の活動を知ってもらった。昨年度、メンバーの1人が実際に心肺停止事例に立ち会い、心肺蘇生法を実施するという体験をした。茶話会ではその時の体験談なども詳しく話し、心肺蘇生法、そして一次救命処置（以下、BLS）への関心を持ってもらった。結果として、医学科、保健学科合わせて25名の新メンバーを迎え、昨年度卒業した8名を補って余りある構成員を確保することができた。



写真1 茶話会にて、Code Orange の活動内容についてのプレゼンテーション

4. 部活動講習会

昨年度同様、本年度も医学部学務課からの依頼に基づき、学生自治会と共同で、医学部学生を対象にBLSを行った。昨年度の受講者が約50名であったのに対し、今年度は80名以上の学生に講習会を行った。受講者を増やした背景として、医学科1年次のカリキュラムに含まれているフレッシュマンセミナーにおいて Code Orange が担当していた BLS 講習会が、昨年度から廃止されたことによる。これにより今年度の2年生はBLSを学ぶ機会がなくなってしまったため、できるだけ多くの2年生にBLSを知って欲しいという願いのもと、受講者を大幅に増加させることとなった。このことはBLSの効率的な普及という面ではとても有益であったが、同時にインストラクターを務める Code Orange メンバーに対し、新メンバーを含めて多くの参加人員を要求しなければならないという問題も生じた。しかし、後述する週1回の定例会や講習会前の練習会により、加入したばかりの新メンバーもインストラクターとして十分に活躍できるだけの知識・技術を身につけることができ、結果として部活動講習会は好評に終わった。講習後に受講者に記入してもらったアンケートでも、講習会に対する賞賛の声が多数寄せられ、医学生たちのBLSの知識・技術の獲得に貢献できたと考えられる。



写真2 部活動講習会にて、熱中症の講義



写真3 部活動講習会にて、医学部学生にBLS講習

5. 七夕祭での展示、及び講習会

今年度も山口大学吉田キャンパスで行われた七夕祭において、Code Orange の活動内容やBLS の基礎知識を示したポスターの展示をするとともに、一般市民を対象としたBLS 講習会を開催した。昨年度は大雨のため講習者が思うように集まらなかったが、今年は呼び込みに力を入れるなどしてより多くの方に講習を受けて頂こうとした結果、約 60 人の市民の方にBLS の講習を行うことができた。今回の講習会で特に目立ったのは、小中学生の受講者である。好奇心旺盛な子どもたちは、我々でも少し頭を抱えてしまうような核心を突く質問をしてきたり、教えれば教えたただけすぐに自分のものにしてしまう柔軟性を持っていた。このような時期からBLS を知り、かつ実践できるようになっていることはとても重要なことであるので、今後は地域の小中学校へ出向いてBLS 講習会を行う機会をつくっていかれたらと考えている。



写真4 七夕祭にて、クイズ形式で小学生にBLSを教える



写真5 七夕祭にて、BLS講習会

6. 医学部オープンキャンパスでの講習会

8月8日に行われた医学部オープンキャンパスにおいて、看護学部を志望する中高生150人以上に対してBLSの講習を行った。この講習会は普段と異なり、講習時間が約30分と、人数に対して時間が短い中での講習会となった。そのため、BLSの中でも特に大事な胸骨圧迫（心臓マッサージ）とAEDの使い方について絞って講習を行った。それでも講習者は真剣に取り組んでくれ、BLSの核となる胸骨圧迫とAEDの使い方を習得してくれた。今後はこのようなポイントを絞った講習の練習も多く取り入れ、様々な状況で効率的な講習が行えるよう、日々の活動に力を入れていきたい。

7. 定期活動

昨年度新たに開始した週1回の定例会を、今年度も引き続き行っている。定例会は毎週水曜日の昼休みに集まり、レクチャーや練習会をするものである。今年度は①プレゼンテーション能力の向上、②主に下級生を対象としたメンバー教育、そして、③イベント・講習会に向けた手技の向上、を目的として活動を行っている。特に上半期は、Code Orangeでの活動が2年目を迎える3年生のメンバーが新メンバーに対してBLSに関する知識をレクチャーすることで、新メンバーの教育だけでなく、3年生の知識の再確認をし、さらに中心メンバーとして活動していくのだという自覚を持ってもらうこともできた。もちろんこのレクチャーに際しては、プレゼンを行う3年生たちに上級者がついて指導を行い、これまでCode Orangeの先輩方から受け継いできた知識や技術などを伝えた。また、イベントや講習会の直前には、放課後の練習会にはなかなか参加できないメンバーに対しての練習会も行い、昼休みという時間を有効に使ってメンバーの知識や技術の向上を目指して活動をしている。

さらに、この定例会はメンバー同士のコミュニケーションの場としても重要である。特に新メンバーが多く加入した今年度は、メンバー間での意思疎通が重要であるため、なるべく多くのメンバーに定例会に参加してもらうようにしている。そうして普段から顔を合わせておくことで、イベントや講習会、またはその練習会にも気軽に参加できるようになり、Code Orange 一丸となって活動をしていくことができると考えている。

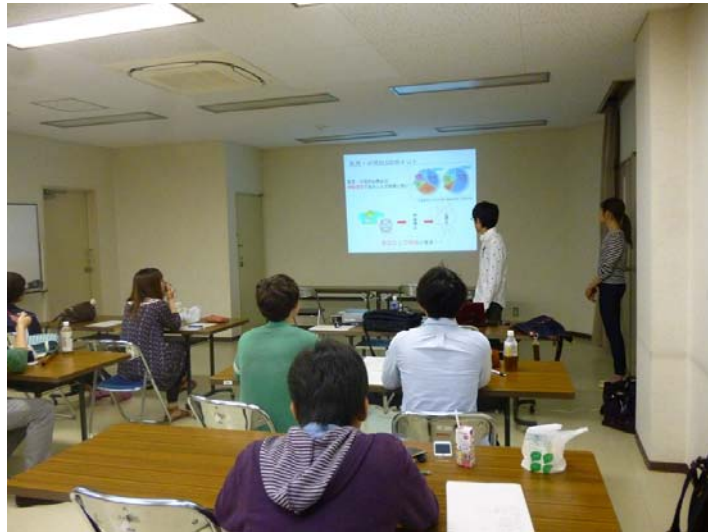


写真 6 定例会にて、3 年生による新メンバー向けレクチャー



写真 7 定例会にて、新メンバー向け練習会

8. 広報活動

今年度も、昨年度の活動に対し、おもプロ学長賞に選出して頂き、表彰して頂いた。また、その様子を山口大学の HP に掲載して頂くことができた。また、Code Orange の HP も引き続き運営しており、さらには SNS の Facebook を通しても広報を行っている。特に今年度は毎週の定例会の様子やイベント・講習会の様子などを頻繁に掲載しており、多くの方々に Code Orange の活動を知って頂こうと努力している。また、他大学での WS へ参加することも Code Orange の活動を周知するいい機会になっており、中国地方や九州地方の大学などにおいても知名度も高まってきている。

9. 下半期に向けて

Code Orange の活動の中で、特に力を入れているのが、11 月に行われる医学祭での市民のための心肺蘇生法講座である。この講習会では毎年 100 名を超える方々が受講して下さる、非常に大きなイベントである。そのため、新メンバーや普段あまり活動に参加していないメンバーも、確固たる知識と技術を持って講習に臨む必要がある。上半期の活動はこの知識と技術の確立に大きく役立ってくると思う。また、今年度の医学祭でも、昨年

度に行った ACLS（二次救命処置）のデモンストレーションを行うことが決定している。今年度はこの機会に、BLS から ACLS への連携、つまり市民の救命処置から病院での診療までの救命の連鎖についても一般の方々に知って頂こうと考えている。

上半期には新メンバーの加入を始め、新しい体制での活動に苦労した面もあったが、定期活動や講習会を行っていく中で段々と軌道に乗ってきたと思われる。下半期はこの勢いをさらに増して、より多くの方々に BLS を普及していけたらと考えている。

現時点での下半期の主な活動を以下に示す。

- 1) 10/4 山口大学ホームカミングデーでの展示&講習会
- 2) 11/8, 9 医学祭市民のための心肺蘇生法講座@小串キャンパス
- 3) 2月 宇部駅伝徒競走大会での自転車救急隊&BLS 講習会@常磐公園
- 4) 定期活動
- 5) 他大学 WS への参加



写真 8 部活動講習会での集合写真